



第1回 MTA セミナー

医鍼連携モデルの構築に向けて

Migraine Treatment and Acupuncture Unity



開催報告 Vol.1 2024/04/22

2024年4月20日、愛知県名古屋市名駅モリシタビルにて、第1回 MTA セミナーを開催しました。

今回は、「頭痛領域における医療連携」について松村明先生、「知っておきたい！頭痛とその治療法」について黒木香行先生にご講演をお願いしました。

後半は、「頭痛患者へのトリガーポイント鍼治療」として名古屋トリガーポイント鍼灸院の高橋健太先生にエコーを用いて解剖学に加えて実技指導をしていただきました。

本セミナーの主旨

本セミナーは Pfizer 医学教育プロジェクト助成の一部となっており、本プロジェクトを通して医療と鍼灸をつなぐ医鍼モデルの構築を目指しております。

鍼治療は片頭痛に対してガイドラインで掲載・推奨されており、頭痛専門医からの関心も高いですが、国内では未だ医鍼連携は進んでいない現状があります。そこで、どの程度の知識があることが望ましいのか？について頭痛専門医に複数回講演をしていただき、鍼灸師の頭痛診療に対する知識レベルの底上げを行います。

最終的には、地域での頭痛専門医と鍼灸院の連携を推進し、国内で多施設共同の臨床試験を行い、エビデンスレベルの向上を目指していきたいと考えております。



研究代表者：石山すみれ
茨城県立医療大学 保健
医療学部 医科学センタ
ー助教 / はり師・きゅう
師・博士（医学）

X : @suishiyama



終了後アンケートのお願い

この度はお忙しいところ、第1回 MTA セミナーにご参加くださり、大変ありがとうございました。

右の QR コードから終了後アンケートにご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

また講師の先生方への感想などもいただけるとありがたいです。いただいた感想は匿名化した状態で講師の先生にお渡しいたします。今後ともよろしくお願い申し上げます。



回答締切 2024/05/17

頭痛診療に おける医療連携 松村明 先生

いちほら病院つくば頭
痛センター長

片頭痛・緊張型頭痛に限らず、一次性頭痛全般の紹介と治療法をご紹介いただきました。運動時頭痛や ice pick 頭痛など診断基準をみる機会は少ないので、とても良い学びになりました。また SNNOP10 リストと頭痛の危険信号、問診で注意すべき点についてわかりやすくご講演いただきました。また MOH の治療と問題点・治療しづらさなど臨床の課題も提示していただき、課題点に対する鍼治療の介入の利点、また鍼灸師との地域連携の課題もお話していただきました。

頭痛患者への トリガーポイント 鍼治療 高橋健太 先生

名古屋トリガーポイント
鍼灸院（はり・きゅう師）

後半やエコーと iPad を駆使して、後頭下筋群の触診・刺鍼・深度について実技指導をいただきました。後半やエコーと iPad を駆使して、後頭下筋群の触診・刺鍼・深度について実技指導をいただきました。

実際の臨床所見や画像所見を提示していただき、頭痛外来の臨床像を想像しながらご講演を聞くことができました。鍼灸師が画像所見を見る機会は少数ですので、MRI/MRA 所見を聞く機会は貴重です。またエビデンスレベルやコクランの概要、コクランライブラリーでの片頭痛と緊張型頭痛に対する鍼治療の位置付けを学ぶことができました。国内での鍼灸情報を取りまとめている MUMSAIC の紹介もあり、今回のガイドライン改訂情報はこちらに掲載されています (https://mumsaic.jp/info/index.php?c=topics2_view&pk=1637556344)。

知っておきたい！ 頭痛とその治療法

黒木香行 先生

桑名市総合医療センター
頭痛専門医

前半にトリガーポイントについての海外論文での所見や機序について概略をわかりやすくご説明いただきました。また Acupuncture と Dry Needling の違いもお話いただき、鍼灸師として言葉の使い分けをしていかないといけないと感じました。頸椎の可動域の計測と頭痛との関連、頭痛という主観が主である疾患に対する客観的な指標を用いることの大切さを教えていただきました。



Q and A コーナー

事前にいただいていた質問も含め、多くの質問にご回答いただきました
※以下は抜粋です

… ? 頭痛専門医が薬物療法に加えて鍼灸を併用した方がいいと感じられる症例は？

(黒木・松村) MOH は治療として原因薬物の中止を促さなければいけないので、治療が難しい。MOH を併発している症例などはないのではないかと思う。

… ? 鍼灸院からの紹介状で病院に問い合わせると、地域連携室から断られた経験があるのですが、どのようにすればいいのでしょうか

基本的に来院希望の患者を断ることはないが、現在の医療では大きな病院では選定療養費がかかる。選定療養費に鍼灸院からの紹介状が該当するのはわからない

(チャットから) 鍼灸院からの紹介状では診療情報提供書 1・2 は取れないので難しい

(黒木・松村) 開業のクリニックは選定療養費を取らないのでそうしたところとの連携がいいかもしれない。

… ? 鍼灸院から病院へご挨拶に行くときにどんな事柄を伝えるといいのでしょうか

(黒木) 紹介した後に何も返事がない、報告がないのはちょっと不信感を感じるかな、と。また学会でも鍼灸院に紹介したいが何をしているのかわからないから不安、どういったことを治療しているのか不安で躊躇してしまうという声も聞く

(石山) 頭痛専門医を対象としたアンケート調査では、鍼灸治療の適切な紹介先として①使い捨ての鍼を使用している、②頭痛患者の経験が豊富にある、が挙げられました。また上位ではなかったものの「顔の見える関係」が重要との意見もあり、やはり挨拶が大事かもしれません。また我々の職種は看板にかける内容がかなり限られているので看板だけでは内容が見えてこないのも問題の一つです。

(黒木) うちの治療院はこのような患者層で、こうした治療法をしている、といった説明の紙が一枚あるだけでも安心感がありますね。

主催 / お問い合わせ

協賛

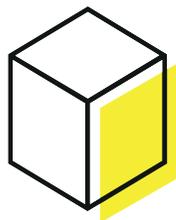
研究代表者：石山すみれ

NPO 筑波脳神経外科研究会

mtaunity.2024@gmail.com

本プロジェクトは Pfizer 公募型医学教育プロジェクト助成

より 2024 年 1 月～2025 年 12 月まで助成を受けております。





第2回 MTA セミナー

医鍼連携モデルの構築に向けて

Migraine Treatment and Acupuncture Unity



日時：2024年8月4日 10:00~15:00

場所：宮城県仙台市青葉区一番町

3-1-16 PARM-CITY131 貸会議室

参加：現地（70名）・ZOOM

参加費：無料（事前アンケートあり）

対象：はり師、医師、医学・鍼灸学生



10:00~

松森保彦 先生

仙台頭痛脳神経クリニック
脳神経外科 / 頭痛専門医

専門医は どう診ているか？

～頭痛診療の最前線 2024～

協賛

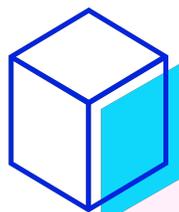
NPO 筑波脳神経外科研究会

主催 / お問い合わせ

研究代表者：石山すみれ

mtaunity.2024@gmail.com

本プロジェクトは Pfizer 公募型医学教育プロジェクト助成
より 2024年1月～2025年12月まで助成を受けております。



11:10~

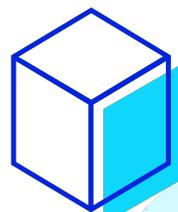
ZOOM 講演

石川栄一 先生

筑波大学医学医療系
脳神経外科 / 頭痛専門医

楽しく、こわい 頭痛診療

～一次性頭痛と二次性頭痛
の見分け方も含めて～



13:20~

※現地のみ

小泉直照 先生

はり処愈鍼 院長
はり・きゅう・あま師

現代・漢方両医学 を駆使した頭痛に

対する鍼灸治療

申し込み

Form



アンケート回答必須

